



火災実験に驚く看護学生たち(京都市山科区・
洛和会京都厚生学校)

電気火災万一備え

山科 看護学生、実験に驚き

看護師を目指す洛和 防署員から学んだ。
会京都厚生学校(京都 医療現場で身近にあ
市山科区音羽)の学生 る「危険物」を扱う意
たちが27日、同校で電 識を高める狙いで、毎
気火災の注意や消火器 年開催している。今年
の使い方などを山科消 は看護学科1年の約1

20人が参加した。
霧状のアルコールに
火をつけて燃え上がら
せたり、プラグと差し
込み口の間に温気った
ホコリがたまっても出火

の原因となる「プラグ
トラッキング」を再現
したりする実験を行っ
た。学生は炎の大きさ
に驚いていた。
参加者の一人、柏原

達也さん(27)は「医
療スタッフとして火
災発生時にどう行動
すべきか考えました」
と話した。
(加藤華江)